カナリヤ通信

第２号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもった女性が、社会の中で逞しく、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

キャリアアップ

政府の施策もあり女性の採用が着実に増えている今、管理職に昇進する人も出てきています。そこで今回は「キャリアアップ」について、以前、開催した座談会での意見を基に課題を掘り下げました。そこから見えてきたのは、制度を変えるなど率先して女性を活用しているところと、まだ女性に対する位置付けが低いままのところなど企業によってさまざまであるということです。そこで新コーナー「わが社のメソッド」を創設、企業サイドから女性の働き方や取り組みについて語ってもらいます。

次回は1月13日です。村木厚子さん（前厚労省事務次官）が登場する予定です

Ｈ　ゼネコンに就職したのは、世界で活躍する日本の土木技術を見たからです。でも当時、女性を積極的に採用している会社は少なく、選択肢は狭かったですね。

Ｍ　リーマンショックの翌年に入社したので、厳しい時期でした。採用数はこれまでの４分の１ぐらい。それに同期で女性は２人だけ。**やはり女性は辞める、と思われていたみたいです。でも、今のところ辞めた人はいないですね。**

Ｙ　うちは女性社員が現在、１９００人中２４０人。女性技術者は全国で約50人います。ただ、ずっと現場にいるわけではなく、主任くらいになると内勤になります。事務の総合職はここ3、4年で採用するようになりました。それまでは一般職から総合職に職種転換する形でした。社員の中には定年後も嘱託として仕事を続けている女性もいますよ。

Ｓ　**うちは男女関係なく昇進できます。**ほぼ年功序列なので、同期はだいたい同じようなポジションでキャリアアップしていますね。早く役職に就けるかどうか運次第というところがあります。最初から一般職、総合職の区別はありませんでした。私はもっと上に行きたいですが、バブル末期の入社で、上が多いのでどうなるかわかりません。**2年前に新設された部に配属されて、まったく新しい部門、誰もが初めての仕事だから、大きくキャリアアップするチャンスだと思っています。**

Ｈ　会社の制度としては男女による差はないですね。若手のうちは年功序列に近いので、同じ条件であれば同じように昇進します。入社当時に違う部署の一般職の女性（年上）から「なんで同じ女性なのに仕事が違うの？」と言われてびっくりしたことがあります。しかし、一般職から総合職への転向制度もありますし、総合職の女性が増えた今では、性別で仕事が決まるのではなく、職種で単純に役割が違うという認識があります。

Ｙ　事務系の管理職はまだ1人しかいません。技術系は2人です。女性所長も出てきました。

Ｈ　うちは組織自体は大きいけれど本社の部署や支店単位で社員一人ひとりを見ているので、叶うかどうかは別にして、希望ややりたいことを聞いてくれる雰囲気はあると思いますね。

性別ではなく職種で役割変わる

Ｙ　若い人でも昇格できるように、数年前から新人事制度に変わりました。単なる年功序列ではなく、昇格の基準を設けて、そのために3次まで試験があります。その試験に合格して管理職になっても、管理職研修がみっちりあるという仕組みです。

Ｅ　営業主体の男性社会なので、正社員１５０人くらいですがその中で女性は10人。そのほとんどが営業事務です。**男性はある程度年功序列で等級が上がるのに対して、女性社員は異動しないと等級が上がらないという噂があって、実際私もそうでした。**人事評価制度はあるにはあるのですが、今の自分に対する評価がどうなっているのか…。特に本人へのフィードバックがないので、自分の現在地がわかるような、きちんとした評価制度が整っている会社はうらやましいです。

Ｓ　管理職になりたくなかったと言っていた男性の部長がいます。専門分野を突き詰めて行きたかったようで、「マネジメントは向いていないのに」といつもぼやいていました。**あえてキャリアアップしたくない、という話は女性に限ったことではないですよね。**

Ｙ　マネジメントは難しいですよ。外部講師の研修を受けている時に先生が「マネージャーに向いていないと思う人は、プレイングマネージャーでいいんですよ」とおっしゃっていました。女性活躍推進の機運もありますし、会社としても積極的に取り組もうとしています。でも、最初から男社会に飛び込み、揉まれてきた女性にとっては「何を今さら？」という人もいます。個々のやる気次第で今後変わっていくと思います。

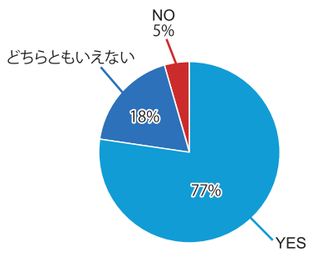
きちんとした評価制度で自分の立ち位置知りたい

キャリアアップ意識調査

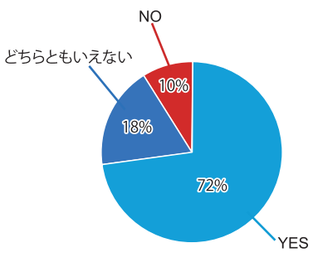
日刊建設通信新聞社調べ・回答数22
調査期間：11月10日―12月４日

今回のアンケートで、キャリアアップに意欲的である一方、男女に差があると感じている人が多いことがわかった。

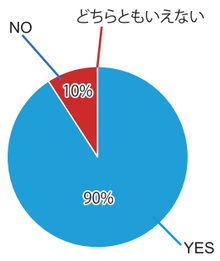
Q1 キャリアアップしたいですか



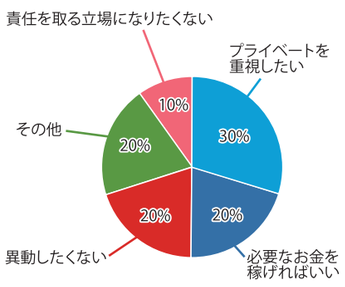
Q2 キャリアアップ（昇進含む）のために異動してもいいですか



Q3 キャリアアップに男女の差があると感じますか



Q4 キャリアアップをしたくない方、理由は何ですか（複数回答可）



Wさん
ゼネコン勤務
技術職
30歳代　２児の母

Mさん
ゼネコン勤務
技術職
30歳代　独身

Yさん
設備勤務
事務職
50歳代　独身

Sさん
専門工事業勤務
技術職
40歳代　独身

Eさん
メーカー勤務
事務職
30歳代　１児の母

Hさん
ゼネコン勤務
技術職
30歳代　独身

男女対等を意識しない社会に

わが社のメソッド

日特建設社長　中森保氏

「男女対等を意識しなくてすむ社会にしたい」と語るのは日特建設社長の中森保氏。対等という言葉が出る時点で、まだ対等ではないという。

同社では女性を積極的に採用、女性１６５人が働いている。また、制度も充実させていることから現時点で育児休暇中の女性が5人、時短利用者が3人。さらに「男性社員で育休を取得した人もいる」とも。「世の中、男女の割合はほぼ半々。であれば、女性を活用し、それに見合った制度をつくるのは当たり前のこと」と、特別なことをしているという気負いは全くない。

また、昇進昇格についても試験を実施して決めているので、あくまでも平等であるという。現在、女性としては最高位で課長職がいるが「意欲を持って仕事に取り組んでいる」と高評価。さらに「ぜひ上を目指してもらいたい」とエールを送る。

仕事を続けようとしている女性にとって妊娠・出産・育児などは悩みどころだが、「その時々に応じて働きやすい環境を整えてあげればいい」。というのも、現在、育児中の女性を自宅近くの事業所に異動させるなど、無理なく能力を最大限に発揮できる環境を提供しているからだ。その時々によって状況が変わるのは女性も男性も同じ。**大切な人材に働き続けてもらうために、会社が柔軟に対応していけばいいという。**

「なにも女性だからと言って肩肘を張る必要はまったくない」と語る。加えて「当たり前のことを当たり前のこととして遂行すれば、必ずいい仕事ができる」と太鼓判を押す。

最後に、「真に対等な社会になるには、あと5年くらいかかるのかもしれない」と言いながらも、女性社員に向ける期待は大きく膨らんでいる。

☆考え方を変えた出来事

女性に対するイメージを一新させたのはアメリカで研修を受けるため訪問した現場だった。「**監督官も設計者も所長も全て女性。正直びっくりした**」。しかしその働く姿は、頼もしい印象すら受けたという。

お片付けの極意を伝授！

杉之原 冨士子さん

早いもので、2015年もまもなく終わり。年末にむけて、仕事は忙しいし家の大掃除もしなくてはいけない～なんてぼやいている人も多いはず。そこで、今回、そんな読者の強い味方、サマンサネット代表取締役の杉之原冨士子さんにお片付けの極意を教えてもらいました。

サマンサネット

働く人から、「お片付けができなくてストレスが溜まる」という相談をよく受けます。それもそのはず、仕事と育児だけでも忙しいのにお片付けまで手が回るはずがありません。

そこで働く女性のお片付けの心得！

「どうやったら負担がなく手を抜いて家事を回せるか」です。

そこで、とっておきの「お片付けの極意」をお教えします。まずは、気軽に始めてみて下さい。片付けは①分ける②減らす③収める、の３ステップだけです。まずは４つに分類してみましょう。最初は悩むと思いますが、だんだん判断のスピードが上がって来ると思います。でも、迷った時は保管箱へ入れて判断を後回しにしましょう。

まもなく新たな年が始まります。きれいになると「明日も頑張ろう」と、テンションが上がります。片付け方を身につけて来年も素敵な暮らしをしましょう。

◇株式会社サマンサネット

片付けのプロが依頼人のライフステージによって、片付けの考え方やテクニックをアドバイス。クローゼットだけではなくキッチンやリビングなどの片付け方も一緒に考えてくれる。

価格は３時間２名派遣で２万4,000円（税別）。

お問い合わせ

⇒電話0120―548―544

特　典　＊電話で「建設通信新聞を見た」といえば、1,000円割引！

A「私はキャリアアップしたい！」 B「えっ、私はマネジメントに自信がない。でも、お給料がすごく上がると言われたら考えるかな」 C「私の願いは平穏に過ごしたい。これが一番。平和を失うくらいならキャリアアップは結構です！」 D「男性だって昇進したくない人もいるよ」

編集部放談

〈編集長談〉どうやら、キャリアアップは男性女性に関係なく十人十色のようですね。

子どもの部活飯の残り弁当

スープジャーに特製スープ!

会社の近所の屋台で

カフェごはん風?

娘のお弁当と一緒に作ります

「ぬか床大臣」によるぬか漬け

Lunchtime げんばめし　あなたのランチ見せて下さい！

あなたのランチは、弁当派？それとも外食派？いずれにしても同僚と囲むランチは美味しくもあり楽しみでもありますよね。そこで登場したのが「げんばめし」。みなさんの「げんばめし」の写真をコメント（名前、職種、連絡先も忘れずに）を添えて下記アドレスまで送って下さい。お待ちしています。今回は、日刊建設通信新聞社社員のランチを紹介します。

連絡先はこちら→
■お問い合わせ：株式会社日刊建設通信新聞社
カナリヤ通信編集部　03－3259－8711
■ご意見・ご感想、「げんばめし」は
canaria@kensetsunews.comまでお寄せください

「カナリヤ通信」は商標登録出願中です：商願2015－118346